

人を対象とする医学系研究についての「情報公開文書」

研究課題名：SNS 相談におけるコンテキスト解析を援用した支援技術の可視化—暴力と貧困の連鎖を断ち切る「エンパワメント・メソッド」の検証と実装—

・はじめに

「デートDV」とは、若年層の親密な恋人間における暴力を指している。調査によれば、その割合は、10代の恋人間の3組に1組で起きているという。若者にとってとても身近な暴力であり、人権侵害です。

・研究に用いる情報の利用目的と利用方法について

本調査研究では、民間団体「エンパワメントかながわ」の若者の「デートDV」の相談についてチャットの解析を行い、支援の方法の効果を図ります。若者のみなさんの相談に関して、科学的な視点から情報分析を行い、安心して相談できる環境づくりや緊急度を測る相談の見立てについて明らかにしていきます。この「見立て」とは、対象となる相談者がどのような状態にあるのか理解し、どのような支援をするのが望ましいか相談員が大きな見通しをもつことであり、その時々々の相談の状況で変わっていくものを示しています。

・研究の対象となられる方

「デートDV」の加害・被害に寄り添い、チャット・電話相談を総合的に行っている民間団体「エンパワメントかながわ」に寄せられた延べ6000件に上る若者からの相談を分析します。なお、解析に用いるデータは、相談窓口開設時2020年9月1日より2023年9月30日までに受け付けたチャット等を対象にします。分析するデータは、団体によってお一人おひとりに合意を得た情報のみを匿名化して扱います。対象となることを希望されない方は、相談窓口(連絡先)へご連絡ください。希望されなかった方の情報は、研究には使用しません。ただし、対象となることを希望されないご連絡が、論文等に公表される以降になった場合には、ご希望に添えない可能性があることをご了承ください。

研究対象者が未成年者の場合には、代諾者からの研究参加拒否の申し出を受け付けます。代諾者は研究対象者の保護者とします。

・研究期間

研究を行う期間は医学部長承認日より2024年3月31日までです。

・研究に用いる試料・情報の項目

民間団体「エンパワメントかながわ」の若者の「デートDV」などの相談について相談チャット等のやり取りの記録を分析させていただきます。「エンパワメントかながわ」で匿名化を行い、匿名化されたデータは暗号化し、物理キーをかけた上で、コンパクトディスクで群馬大学に提供されます。対応表は「エンパワメントかながわ」で保管し、群馬大学には提供されません。

・予想される不利益(負担・リスク)及び利益

皆様から寄せられた相談を全て匿名化（どこのどなたから寄せられた相談なのか特定できないように加工）した上で、分析を行います。本研究において、相談者の皆様に予想されるリスクはありません。本研究により調査対象となった皆様が直接受けることのできる利益及び不利益(リスク)はありませんが、将来、本研究成果は「デートDV」を抱えて、思い悩む人たちの一助になり、多くの皆様に貢献できる可能性があると考えています。なお、ご協力は無償になりますので、ご協力をよろしくお願いいたします。

・個人情報の管理について

本調査研究は、すべて匿名化した上で行います。なお、個人情報の漏洩を防ぐため、「エンパワメントかながわ」の協力を得て、個人を特定できる情報をすべて削除し、データの数字化、データファイルの暗号化などの厳格な対策を取り、第三者が個人情報を閲覧することができないようにしてデータの提供をお願いいたします。

また、本研究の実施過程及びその結果の公表（学会や論文等）の際には、対象者の方を特定できる情報は含まれませんのでご安心ください。

本研究で使用した対応表は「エンパワメントかながわ」内で保管されます。保管方法については「エンパワメントかながわ」での規定に従って、事務局の安全に管理されたサーバー内に保管されます。

・試料・情報の保管及び廃棄

この調査研究で得られた情報は、暗号化された物理キーをかけた上で、コンパクトディスクで提供を受けます。システム統合センターの協力を得て、ネット環境のない安全な場所で、物理キーを用いて解除し、統計処理を行い、ダイバーシティ推進センターGC棟 209 長安研究室の鍵のかかるロッカーで保管し、調査終了後は10年間保存し、保存期間が終了した後に、個人を識別できる情報を取り除いた上でシュレッダーを行い廃棄いたします。

保管および廃棄責任者：ダイバーシティ推進センター講師 長 安 めぐみ

・研究成果の帰属について

この研究により得られた結果が、特許権等の知的財産を生み出す可能性があります。その場合の特許権等は研究者もしくは所属する研究機関に帰属することになり、あなたにこの権利が生じることはありません。

・研究資金について

この研究を行うために必要な研究費は、国立大学法人群馬大学運営交付金(個人研究費)及び「エンパワメントかながわ」との共同研究経費を活用いたします。

・利益相反に関する事項について

研究グループが公的資金以外に製薬企業などからの資金提供を受けている場合に、臨床研究が企業の利益のために行われているのではないか、あるいは臨床研究の結果の公表が公正に行われないのではないか(企業に有利な結果しか公表されないのではないか)などといった疑問が生じることがあります。これを利益相反(研究対象者の方の利益と研究グループや製薬企業などの利益が相反している状態)と呼びます。この研究の利害関係については、群馬大学利益相反マネジメント委員会の承認を得ております。また、この研究過程を定期的に群馬大学利益相反マネジメント委員会へ報告などを行うことにより、この研究の利害関係について公正性を保ちます。研究組織に係る研究者の利益相反については、それぞれが所属する機関の利益相反委員会で審査され、適切に管理されています。

・「群馬大学 人を対象とする医学系研究倫理審査委員会」について

この研究を実施することの妥当性や方法については、多くの専門家によって十分検討されています。群馬大学では人を対象とする医学系研究倫理審査委員会を設置しており、この委員会において科学的、倫理的に問題ないかどうかについて審査し、承認を受けています。

(ホームページアドレス：<https://www.rinri.amed.go.jp/>)

・研究組織について

この研究は、群馬大学ダイバーシティ推進センターの教員が主体となって行っています。共同研究機関として、民間団体「エンパワメントかながわ」の協力を得て解析を行います。

この研究を担当する研究責任者、研究分担者は以下のとおりです。

研究責任者(研究代表者)

所属・職名：ダイバーシティ推進センター 講師
氏名：長 安 めぐみ
連絡先：027-220-7146

研究分担者

所属・職名：附属病院システム統合センター 准教授
氏名：鳥飼 幸太
連絡先：027-220-8773

所属・職名：健康支援総合センター 講師
氏名：宮崎 博子
連絡先：027-220-7162

共同研究機関

所属・職名：認定NPO法人「エンパワメントかながわ」代表
氏名：阿部 真紀
連絡先：045-323-1818

・研究対象者の権利に関して情報が欲しい場合あるいは健康被害が生じたときに連絡をとるべき相談窓口について

研究対象者がこの研究および研究対象者の権利に関してさらに情報が欲しい場合、または研究対象者に健康被害が発生した場合に、研究対象者が連絡をとる担当者は下記のとおりです。何かお聞きになりたいことがありましたら、どうぞ遠慮なくいつでもご連絡ください。なお、研究にあたっては、協力団体によって合意を得た情報のみを匿名化して受けとり、分析を進めさせていただきます。研究内容に関することは、協力団体を介して詳しくご説明させていただきます。

【問合せ・苦情等の相談窓口（連絡先）】

所属・職名：群馬大学ダイバーシティ推進センター

氏名：長安めぐみ

連絡先：〒371-8510

群馬県前橋市荒牧町4-2

Tel：027-220-7146

【研究参加拒否の対応窓口（連絡先）】

所属・職名：認定NPO法人「エンパワメントかながわ」代表

氏名：阿部 真紀

連絡先：〒221-0834

神奈川県横浜市神奈川区台町11-2 6-1 0 3

Tel：045-323-1818

上記の窓口では、次の事柄について受け付けています。

- (1) 研究計画書および研究の方法に関する資料の閲覧（又は入手）ならびにその方法 ※他の研究対象者の個人情報および知的財産の保護等に支障がない範囲内に限られます。
- (2) 研究対象者の個人情報についての開示およびその手続（手数料の額も含まれます。）
- (3) 研究対象者の個人情報の開示、訂正等、利用停止等について、請求に応じられない場合にはその理由の説明
- (4) 研究対象者から提供された試料・情報の利用に関する通知
 - ①試料・情報の利用目的および利用方法（他の機関へ提供される場合はその方法を含む。）
 - ②利用し、または提供する試料・情報の項目
 - ③利用する者の範囲
 - ④試料・情報の管理について責任を有する者の氏名または名称
 - ⑤研究対象者またはその代理人の求めに応じて、研究対象者が識別される試料・情報の利用または他の研究機関への提供を停止すること、およびその求めを受け付ける方法